

	A型、A-1型	M型
適用流体	清水(上水)	清水(上水)
適用温度	0～80℃	0～40℃
使用圧力	0～1MPa { 0～10.2kgf/cm <sup>2</sup> }	

適用管：JIS G 3448 一般配管用ステンレス鋼管  
JWWA G 115 水道用ステンレス鋼管

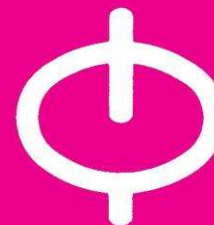
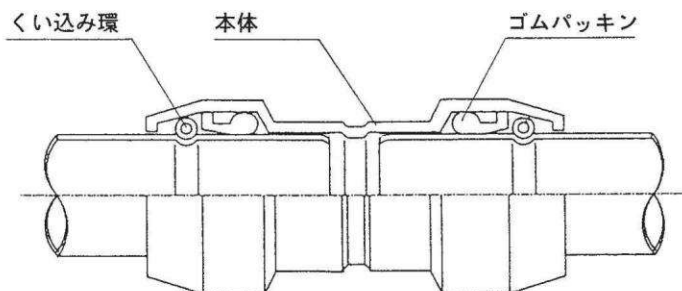
その他：ゴムパッキンにキズを付けないように取り扱いには注意してください。

- ：一度使用したゴムパッキンは再使用できません。
- ：保管は屋内を原則とします。梱包して塵埃を避けてください。  
やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光や雨露、塵埃を避ける処置を講じてください。
- ：凍結しないように保温してください。

専用治工具が必要です。

- 溝付け工具 ・別売専用のストッパー付工具  
・市販のロータリーチューブカッターの刃を、別売の専用溝付けロール(巾6.3mm)に交換した工具。
- ケガキ治具 ・別売 A、A-1型兼用品、M型専用品
- 潤滑剤 ・別売 KPJ用潤滑剤

KPJの代表構造 (A型)



コマ印 管継手

# コマプッシュジョイント

## KPJ-A型 A-1型、M型

### 接合手順および注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。

 **リケンNPR 株式会社**

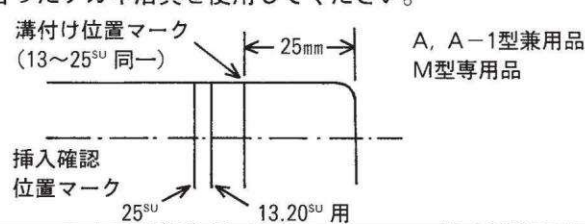
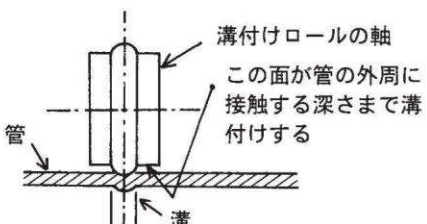
 **配管コールセンター**  
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいます。

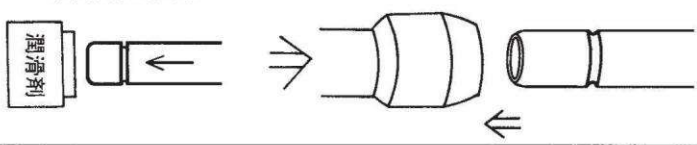
**0120-212-016**

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社：〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1  
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681  
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工 程	接合手順・注意事項
1 管の切断	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロータリーチューブカッターを用いて管軸線に直角に切断してください。</li> <li>切断時に管を固定する際、変形しないよう注意してください。</li> </ul> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弓のこや丸のこ盤で切断すると、管端にバリを生じ、また面取りが必要になりますので使用しないでください。</li> </ul>
2 管の洗浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内外面に付着した切り粉や異物等をウエスなどで除去してください。</li> </ul> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管端から約30mmの範囲にキズや変形があると漏れの原因になりますので、必ず確認してください。</li> </ul>
3 ケガキ作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケガキ治具を用いて、溝付け位置および挿入確認位置マークをけがきます。</li> <li>継手に合ったケガキ治具を使用してください。</li> </ul> 
4 溝付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>溝付け工具の溝付けロールを、管の溝付け位置マークに当てて全周に徐々に溝付け加工をしてください。</li> <li>溝付けロールの軸が管に接触する深さまで溝が付けば完了です。溝の深さは約0.6mmです。</li> </ul> 

工 程	接合手順・注意事項
	<p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>溝の深さ不足や位置の不具合は、性能を低下させますので、必ず所定の値を守ってください。</li> </ul>
5 管の差し込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>管端部をウエスで拭いてから、専用潤滑剤を塗布して管先端を継手内部（ストッパー）に突き当たるまで差し込んでください。管を回しながら行くと容易に差し込めます。</li> </ul> <p>潤滑剤の塗布</p> 
6 差し込み後の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>管の差し込み確認線が継手の端面と合うところまで差し込み、その後管が抜けなくなるまで手で引き抜きます。約3mm引き抜けます。3mm以上引き抜ける場合は、溝付け位置の不適正、溝深さの不良あるいは差し込み不足が考えられますので確認してください。</li> </ul>
管の離脱 (A-1型のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>A-1型には、管の離脱機構が付いています。管を継手から離脱する場合は、専用の離脱工具を用いて以下の手順で行ってください。</li> <li>離脱工具の先端を継手の端部に設けてある離脱溝に差し込み奥まで挿入すると、くい込み環がくい込み環装着溝から浮き上がります。継手から管を引き抜いてください。</li> </ul> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管の先端から溝までの間にキズが付いていないか確認してください。キズが付いていますと漏れの原因になりますので、再使用の際は必ず新しい管に交換してください。</li> <li>パッキンの再使用はできません。</li> </ul>